

報道各位

平成26年4月吉日

「写真に何ができるか」

2014年 5月14日(水)～ 5月25日(日)

1:00PM～6:00PM/ 入場無料 月・火曜休館

会場: インスタイル・フォトグラフィー・センター

主催 「写真に何ができるか」展 実行委員会

東京都港区南麻布5-2-9 東京メトロ日比谷線 広尾駅下車 徒歩7分

2014年4月、新進気鋭の写真家7名による「写真に何ができるか」(思考する7人の眼)が窓社から刊行されました。写真をアート作品として提示する場合、写真家が何を伝えたいかを自ら語る必要があります。同書はそのような意図を持つ写真家たちが、作品とテキストを通して、自らのメッセージを世の中に発信することを目指したヴィジュアル+メッセージ本です。ただし、写真家のテキストは重要ですが、それらはあくまでも写真作品とともに存在します。本展は、同書刊行を記念してうち6名の写真家の写真作品を実際に展示するものです。本物のオリジナルプリントを見てもらい、作品理解をより深めてもらうことを意図して開催します。

同書のまえがきで窓社の西山俊一は以下のように語っています。「ここに紹介させていただく写真家たちは、前述のような写真的現実のさまざまな変化変容に関わらず、「写真とは何か」という問いを手放さず、写真に対して真正面から真摯に誠実に向き合い、写真をみずからの人生の縁にして生きていこうと決意し、あくまでも自分の内発性を糧に自律的作品の制作にエネルギーに挑んでいる気鋭の写真家たちである。私には彼らが写真の世界から生まれ出た哲学徒のように思われてならない。私にとって哲学者とは「問う人」であり、答えの見えない可能性に「挑む人」であり、あくまでも自前で思考し、どんな境遇にあろうとも「自分自身」を生きようとする者の謂いである。」

本展では「写真に何ができるか」に参加しているうち、6名による約30点の作品を展示予定。期間中には編者の福川芳郎と写真家によるトークイベントも開催します。

ぜひ高覧いただくとともに、貴媒体での展示情報のご紹介をよろしく申し上げます。

参加者: 三善チヒロ、幸田大地、にのみやさをり、石橋英之、芦谷淳、西野壮平

以上

参加写真家プロフィール

・三善 チヒロ Chihiro MIYOSHI

1990年 東京都生まれ

(時間・個性・言語) 写真が見ている

・幸田大地 Daichi KODA

1983年 静岡県生まれ

(不在・存在) 死者と生者は繋がっているか

・にのみやさをり Sawori NINOMIYA

1970年 神奈川県生まれ

(世界) 傲慢な私と写真 一色が消えた世界から

・石橋英之 Hideyuki ISHIBASHI

1986年 兵庫県生まれ

(写真) なぜ、他者の写真か

・芦谷 淳 Jun ASHIYA

1971年 東京都生まれ

(境界) 消える風景と生まれる風景

・西野壮平 Sohei NISHINO

1982年 兵庫県生まれ

(都市) 浮遊する者のささやかな抗い

・お問い合わせ 「写真に何ができるか」展 実行委員会 ブリッツ内 TEL 03-3714-0552

E-mail: info@artphoto-site.com